



平成26年1月15日

新しい年を迎え、一年間のまとめを確かなものに

新年あけまして、おめでとうございます。昨年は保護者ならびに地域の皆様には、本校教育の推進にご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。本年もよろしく願いいたします。

新学期が始まり、子どもたちは明るい顔で元気よく登校してきました。始業式では、学校長からまとめの学期に際して、「『凡事徹底』当たり前のことを当たり前に行うことのできる人になってください。」という話がありました。その後、各学年の代表が今年の目標を述べ、最後に5、6年生による曳山祭りのしゃぎりのリコーダー奏を行いました。



3学期は一年間のまとめの学期でもあり、今年一年間でつけた力が姿として表れる学期でもあります。5年生は6年生に代わって全校のリーダーとなるよう、委員会活動を引き継ぎます。長浜小学校の伝統を受け継ぐ学期でもあります。

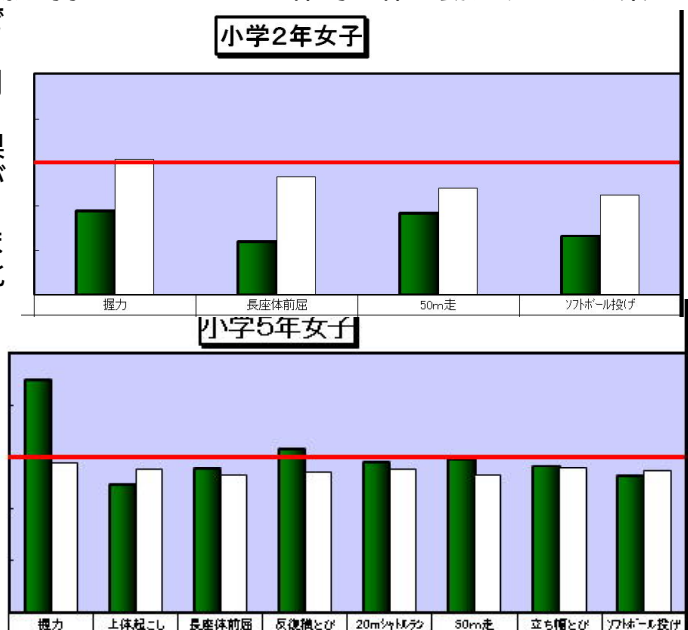
高学年の奏でるしゃぎりに、低学年が声も出さず聴き入り、リコーダーをあのように合わせるのだと中学年の自覚する姿は、長小の伝統の一つでもあります。3学期は、これまで成長してきた子どもたちを次年度へ向け、さらなる伸長を図るべく、一層、教育活動の充実に努めていきます。皆様には変わらぬご支援ご協力をお願いします。

体力づくりの取組より

全国や滋賀県の状況と比べ低下している持久力に危惧し、子どもたちに基礎的な体力をつけようとBトレを考案し、取り組み始めて3年近くが経過しようとしています。リレー大会、運動会、マラソン大会、縄跳び大会などに向け、目標を持たせることで主体的に体を動かすことが楽しいと感じられる子どもを目指して取り組んできました。

これまで子どもたちの姿を見とり、5月と12月の結果から伸びを見てきましたが、本年度実施しました体力テストの結果と県の比較が得られ、全校的にも、学年が上がる毎にも伸びていることがわかりました。

右図のように2年生と5年生を例にしますと、滋賀県の平均（白い棒グラフ）と比べて、本校の低学年（黒い棒グラフ）はいずれも低い数値を示していますが、高学年では多くの種目が伸びていることがわかりました。この傾向は、学校全体で見ても、学年が上がるにつれ、県平均を超え、体力の向上が見られるということがわかりました。この結果からも、子どもたちが確実に体力をつけていることがわかります。今後も、一層体力の向上に努め、健康な体をつくり、将来にわたって体を動かすことを楽しむ子どもを目指して取組を進めていきます。



チーム長小の活躍

2学期に行われた競技会や作品展において長浜小学校の代表として多くの人が活躍しました。その一部をご紹介します。

～長浜市子ども美術展～

平成25年度長浜市子ども美術展が、11月21日から24日までの日程で、長浜文化芸術会館にて開催されました。書写の部と平面作品、立体作品の部それぞれに力作が出品されました。その中で特選、優秀賞に輝いたみなさんは次の通りです。

【県特選】

立体の部 1年 掘良旭さん 4年 望月悠人さん

【優秀賞】

書写の部 2年 篠田凜夏さん

平面の部 1年 吉田脩人さん 2年 伊藤結さん

5年 四塚俊太さん 5年 堤佳奈さん

立体の部 3年 村方愛梨さん 4年 江代海翔さん 5年 鵜飼祈人さん

～長浜思考力チャレンジ大会～

第4回長浜思考力チャレンジ大会が、11月17日に長浜市役所浅井支所を会場に開催されました。思考力が問われる算数科の問題を制限時間内に解き、その点数を競うものです。個人部門と団体部門とが行われ、今回、市内の5、6年生の250名余の参加者がありました。長浜小学校からも59人が参加しました。難しい問題にも挑戦しようとする姿勢はとて素晴らしいです。今後も自分の力を試す機会を見つけ、どんどん挑戦することを期待しています。今回、次の人が入賞しました。

【参加部門】

優秀賞 (団体の部) 上嶋望月さん 岩根大知さん 坂田雄咲さん

優良賞 (団体の部) 清井彩加さん 尾崎理子さん 西野愛生さん

(団体の部) 上手旭さん 後藤伊心さん 松田佳大さん



～市長杯チャレンジ・ザ・ロープジャンプ大会～

12月20日に恒例となったロープジャンプ大会が長浜ドームにて開催されました。市内6年生を対象とし、長浜市内の全クラスが参加するもので、学級全員が8の字跳びで規定時間内に跳ぶ回数を競います。本校の6年生も早い時期から取り組み、休み時間を使って積極的に練習しました。こうした中から、学級全員がスムーズに跳べるよう、跳ぶ順番を変えたり、縄を回すスピードを人に合わせて変えたりするなどして、学級毎に工夫した跳び方やかけ声が生み出されました。

12月11日に行われた、学校代表を決める予選会の結果、3学級が本選に出場しました。2学期の終業式では全校児童の前で模範演技を披露しました。本選を逃した2学級の児童からは、手作りの垂れ幕と共に激励の言葉が述べられ、演技を終えた本選出場の学級の児童から、思いがけない演出に感動の声が上がりました。学級の枠を越えて、学年や学校として互いを思いやり励まし合う心が育っていると感じられる姿です。これを見た全校の子どもたちも大きな感動に浸っていました。

長浜ドームで開催された本選では、6年B組が797回を跳び、準優勝に輝きました。また、6年D組が3位に入賞することができました。子どもたちは、練習を通して、あきらめない心と共に、仲間を気遣い思いやることの大切さを学ぶことができました。



今日の五時間目に、大縄の本選に行くB組、C組、D組のための応えんまくのデザイン決めや文字決めをしました。ぼくはA組は本選に行けなかったけど、本選に行くことになった他のクラスのため、何か応えんしたいなと思っていたので、応えんのまくが作れてうれしいです。B、C、Dの人がよるこんでくれるとうれしいです。
(6年生児童の感想より)